

令和7年度第1回民間活用事業者選定評価委員会会議録

日 時	令和7年7月28日（月） 14時30分～16時00分	場 所	川崎市役所南庁舎 11階管理者会議室
出席者	委員 鷺津委員長、磯貝委員、平井委員		
事務局	所管課 サービス推進部：松永部長 サービス推進課：星野課長、川口課長補佐、三浦主任、栗野職員 施設保全課：小林担当係長 事務局 経営戦略・危機管理室：森川室長、藤松担当課長、川崎担当係長、深野職員		
傍聴者	1人		
議 題	川崎市入江崎余熱利用プール指定管理者における管理運営事業の令和6年度評価		
議 事	<p>藤松担当課長</p> <p>定刻になりましたので、令和7年度第1回川崎市上下水道局民間活用事業者選定評価委員会を開催します。</p> <p>本日の委員会でございますが、委員会の成立にあたりましては委員の半数の出席が要件とされておりまして、委員3名全員が出席されておりますことから、本委員会が成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>また、本日の委員会は、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定に基づき、公開とさせていただきますので御了承のほど、よろしくお願いたします。</p> <p>なお、本日は1名の傍聴人が、いらっしゃっておりますので、お入りいただきます。</p> <p>委員会終了後、会議録を作成しますが、こちらも原則公開となっております。事務局で作成後、各委員に内容を確認して頂いた後、確定させてまいりたいと考えております。会議録作成のため、ICレコーダーを設置させていただきますので、予め御了承をお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の資料につきまして、お手元のパソコンにデータを格納しておりますので、御確認ください。途中、資料に不備等がございましたら、事務局へお伝えください。</p> <p>それでは、これより先の進行につきましては、委員会の規定に基づき、鷺津委員長をお願いいたします。</p> <p>鷺津委員長</p> <p>それでは、議題の「川崎市入江崎余熱利用プール指定管理者における管理運営事業の令和6年度評価」について審議を進めてまいります。はじめに「入江崎余熱利用プールの運営の概要」につきまして、所管課から説明をお願いします。</p> <p>星野課長</p> <p><資料1に基づき、入江崎余熱利用プールの運営の概要について説明></p> <p>鷺津委員長</p> <p>続きまして、事業実績と指定管理者事業報告書について所管課から説明をお願いします。</p> <p>川口課長補佐</p> <p><資料2から資料10に基づき、事業実績、指定管理者事業報告書等について説明></p> <p>鷺津委員長</p> <p>所管課からの説明について、委員から御意見、御質問があればお願いします。</p> <p>古い老朽設備にもかかわらず、非常に丁寧に見ていただいています。利用者の安全や、バス車内への置き去り防止等に細心の注意を払うという事業者の努力は、とても素晴らしかったかなと思います。ニーズも最近では増えているということで、明るいニュースといえば明るいニュースだと思いますが、残念ながら、収支計算を見ますと、費用の2分の1しか収入がございません。1回520円で、教室の利用料は5,000円程度でしたでしょうか。資料2-1にそういうのがございましたけれども、これは、近隣の他のスポーツ施設と比べてどのような感じなのかについて、ご見識などはありますか。</p> <p>川口課長補佐</p> <p>近隣の施設について以前調べたのですが、だいたい複合施設となっており、純粋にプールだけを比べることはできませんでした。使用料金は、軒並み高いです。水泳教室のみで言えば、入江崎で</p>		

	<p>は小学生・中学生ですと、5,230 円ですが、ティップネスだと 9,000 円ぐらいで、コナミでは 9,500 円ぐらいと倍近いです。</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>倍近いというのは、やはりコストとの関係を倍にすれば見合うという話になってくるわけです。本来はもう少し高くすべきところを、その分だけ、参加している人は、見えないものとして、便益を受けているという考えもありますよね。9,000 円と 5,230 円の間約 4,000 円を、利用している人は、便益として受けている。それは、公営の施設だからこそ提供できる便益であって、その便益分が費用との間にあり、それは市が税金から負担し、消費者に還元する便益です。その便益も含めて考えた場合に、コストが上回るか同程度であればよいといえるのかもかもしれません。収支が改善することを見込めない中で、市の施設が提供できる便益の表し方に、行政が提供している価値で、金銭化されていない価値を、何らかの方法で見える化し、それをアピールする。物価高で市民の生活が苦しくなる中で、家庭の所得が十分でない人も、ここなら通えるというような公共施設ならではの価値を説明していくという考え方も必要なのではないかと思いました。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>磯貝委員、そのあたりはいかがでしょう。</p> <p>数値だけを見ると、資料 4-1 において、過去の収入と支出が書いてあるのですが、平成 28 年というところを見ると、一般と水泳教室で 74,000 人来ているのですね。令和 6 年も平成 28 年とほぼ同じだけの利用者数で、収入の方は 6,150 万円が、6,210 万円と若干 60 万円多くなりました。ところが、支出の方は、9,900 万円から 1 億 1,900 万円と、2,000 万円も増加しているのですね。この支出は、物価高に対応して支払っているものが 2,000 万円増えているという中で、収入を据え置いて維持したため、収支差が、3,800 万円から 5,700 万円になってしまいました。実際にコストが、この間、2 倍に増えているのですが、まさに収入として、それに対応する分くらいは増えていかなければならないのではないかと思います。もちろん見えない価値もあると思いますが、少なくとも 2 割程度増えないと、その 3,800 万円の赤字がよいかどうかは別として、運営を維持することができないということがまず一つ言えます。</p> <p>人数が 71,000 人から 74,000 人に増えたこと自体は努力もありますし、アンケート調査を見ると、皆様が好意的な評価です。「ぜひ行きたいと思います」や、「このようなところをなくさないでほしい」というアンケート結果もあって、これは施設としては必要な施設だということは認識した上で、資料 3-1 の下の表の合計のところを見ていただきますと、令和 5 年と 6 年で 2,400 人増えています。ところが、よく見ると、1 月に 3,900 人増えています。前年 1 月はトラブルがあって、営業されていない期間があったのが、今期はフル営業になったので、人数が増えたといえます。前期もフル営業になっているとしたら、どうなのかという見方をすると、6 月は増えているものの、4 月に 600 人、5 月に 200 人と少しずつ人数が減る傾向があるようです。全体として現状を維持していても、少しずつ減る傾向があり、収入も少しずつ減っていくだろうということが想定されるというのは、数値だけ見ると思うところですね。</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>費用が過去に対して 2 割増加というのは、光熱費の増加などがあるのかもかもしれません。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>8 年くらいの間ですから、2、3%上がっているのは、物価が 2%程度上がるということを目指しているもので、それほど違和感はないですね。様々なコストが上がっています。</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>でも人数は減る傾向にある、少子化でしょうか。そのような傾向があるという現状を踏まえる必要があります。耐用年数を迎えるにあたって、次を考えるとときにどう考えるかということですね。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>そうですね。やはりある程度の投資をするということと、回収をするということはセットに考えなければいけません。ある程度何らかの投資をするのであれば、それがどのような形で回収ができるかについては、慎重に考えたほうがよいでしょうね。</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>現状は、仕方がない中で努力をされていて、その中では最大限のことをしているかもしれないけれども、次の投資をどう考えるかについては、少子化の状況も踏まえて、慎重に回収をすることが</p>

磯貝委員	重要ですね。 きちんと投資したものを回収しなければなりませんね。新たな投資をするということは、回収がかなりできるという確実性がある程度あった中で計画を立てていかなければなりません。
鷺津委員長	公共事業とはいえど、市民のためというところの説明等が、どの程度つくかということは、慎重に考えていく必要があるのかな。平井委員はいかがでしょう。
平井委員	ここではないのですが、自分の子供もスイミングに通っているのですが、なんとなくいろいろ想像はできるのですが、やはり今おっしゃっていた部分に加えて、様々コスト高になってきていて、もちろん人件費も増加していると思いますし、どこもお月謝などの値上げをしているのですが、そういったことはしないのかなというのは、一つ気になった点ですね。検討はしているのかもしれませんが、それはあってもよいのではないかと思いました。それだけでは穴埋めには程遠いかもかもしれませんが、一般的な意見としては、そんな感じですね。
鷺津委員長	市民の側は、納税者として税金を払い、税金がきちんと有効に使われるのかという面と、プールという良い便益が市民に与えられるかという面の2つがあります。確かにプールの受益者というのは、全ての市民というわけではありませんので、全ての市民からの納税分を、市民にお返しするときには一部の市民にしか行かないといったときに、値上げによって少し便益を負担してもらうということは、ありかなという気はします。そういう面でいうと、納税者としての市民に、どのように説明していくかというのも、別途考えていかなければならないのかな。さすがに、2倍の収支差を見せられると、そのように少し考えることもございます。 そのほか、御意見等ございますか。
磯貝委員	入江崎のスラッジを燃やして、熱を出すという行為において、CO ₂ などの影響はいかがなのでしょう。スラッジは燃やすというのが一番良いのでしょうか。
森川室長	処理の仕方としては、現在の方法が合理的であります。どうしても二酸化炭素や一酸化二窒素が出てしまうので、それをどう抑えていくのかということが非常に大きな課題になっています。
磯貝委員	熱を使ってプールを運営するのではなく、発電するのはどうなのでしょう。
鷺津委員長	かなりの燃料を使ってバスで人を運んでいますが、あの辺の立地は工場が集まっているということを利用できないでしょうか。熱は今、再エネが全然できていません。電気は再エネによってCO ₂ ゼロになりますが、熱は再エネではありません。中小企業の200度程度の割と低い温度帯の熱利用というのは再エネ化の見込みのないエネルギーですので、それをCO ₂ の排出をカウントしないバイオマス燃料として、地域の熱の需要のために使うというのはすごく良いアイデアにならないかなと思います。次の投資の際にはそういったことも総合的に考えていかなければならないかなと思います。 それでは、続きまして、令和6年度評価シートについて、所管課から説明をお願いします。
川口課長補佐	<令和6年度評価シートに基づき、年度評価について説明>
鷺津委員長	所管課からの説明について、委員から御意見、御質問があればお願いします。 昨年度は故障ばかりで、そのせいでたまたま少ない収入が減っていました。日本のインフラは下水道をはじめとして、最近いろいろところで問題が起こっています。古くなったインフラを大切に使い、地味ではあっても毎日メンテナンスして、事故を未然に防ぐといった事業者の見えない努力を少し評価したり、促したりするような評価の仕組みがないと、日本のインフラがもたないのではないかという話を去年議論させていただきました。それを配慮してくださって、すごく良い成績を付けてくださったというところです。この点については、去年からの議論です。私の持論としても、いぶし銀のような見えないところにインセンティブをつけない限り、日本のインフラは持たないと考えているところです。そのような面では、今回、私は、事前にご説明を受けたときには、私の持論を見込んでくださったというふうなことを思っておりましたし、こういうふうには評価す

川口課長補佐 鷺津委員長	<p>べきだと思っております。</p> <p>さりながら、ここでも赤字が出ているという話ですが、それはどうなるのでしょうか。その赤字は、事業者が他の何かの黒字で補填するのか、それとも川崎市の方で補填するのか、どちらでしょうか。</p> <p>オアシスの800万円の赤字の方は、オアシスの中で補填します。</p> <p>では、それは事業者の方もなるべく改善するように、そこは今後努力していくであろうということですね。</p> <p>確かに、エネルギーの高騰は、一般的な現象でしばらくは続くことですので、そういったところの事業努力が必要ということは、指導事項のようなところにあった方がよいかもしれません。磯貝委員はいかがでしょう。</p>
磯貝委員	<p>私も同感です。鷺津委員長が言われた通り、設備が動いて良かったと感じます。「5」という評価をされているところがあると思いますが、それについても委員長と同意見です。</p>
平井委員	<p>全体的な評価のところはよいと思います。</p> <p>2 ページ目の利用者の意見、要望への対応のところ、いただいた意見に対しての取り組み、改善などは迅速に適切に対応していることが、とてもよく分かりました。2 目にある「意見・要望の収集方法が適切だったか」のところ、アンケートを先ほど見せていただきましたが、利用者数に対して、アンケートに答えていただいている数がすごく少ないのではないかと思います。2 回実施していますが、2 回同じ人が答えている可能性もあります。また、一般の利用と水泳教室の方の利用とでは、やはり差があるので、今後のところでももう少し工夫ができるといいかと思います。</p> <p>3 ページ目のところで、「安全・安心への取り組み」については事前にいただいた資料で、様々なフローがありましたね。それを確認して、非常に徹底されていると思いますし、事故が発生したときの対応も素晴らしいと思いますが、親の目線になってしまいますと、「4 歳の男の子が転倒してしまい」というところがありましたが、やはり、事前に防げなかったかな、というのは気になるところです。後日、注意喚起をして、再発防止に努めたというところは評価できると思いますが、やはり、頭部出血ということで、親御さんのお気持ちを思うと少し考えるところもありますので、いろいろなことを想定しながら、事前に防いでいただけたらと思っています。</p> <p>また、「環境負荷の軽減」という項目について、スクールバスの運行のところで、利用者の要望に応えられるように、というご説明がありましたが、もちろん、要望にも応えるのは、とても大事なのですが、無駄のない運行というの、環境負荷の軽減につながると思うので、細かいところではありますが、少し意識していただければ良いと思いました。</p>
鷺津委員長	<p>確かにアンケートは、全体の数を見ても、85 人は少ないと思います。普通どのくらいでしょうか。一般化された意見というには確かに少ないと思いますので、そのところは、もう少し、適正な評価が必要かもしれません。</p> <p>それから、今ご指摘いただいた点は、来年度のところに留め置いた方がよい点もあるのではないかと思います。もちろん、対応は良かったとはいえ、4 歳の子が転倒してしまったということは一つの大きな事件ですので、再発防止に努めることが大切です。そのあたりのところは少し付け加えた方がよいと思います。</p> <p>また、先ほど私が言いました費用面に気をつけるということと、同義だと思いますが、環境面のエネルギー節約という観点でも、バスが無駄な動きをしないように気を付けてください。そうすれば、1、2 点加えられてもいいかなという風に思います。</p>
川口課長補佐	<p>鷺津先生のおっしゃった費用面をもう少しというのは、光熱費についてということでしょうか。光熱費は市が完全に負担しているので、その部分で節約しても、指定管理者の費用に企業努力として反映させることはできません。本社経費などを見ると収支不足額と同じくらいの額ですので、そ</p>

<p>鷺津委員長</p>	<p>れらを含め、どこをどのように圧縮できるかを、会社の中で考えていただく形になるかと思います。</p> <p>いずれにしてもここで赤字になってしまうのは仕方がないと思います。おそらく、少しずつの無駄があちこちに生じていて、それを少しずつ削減していくようなことがあるのではないかと感じています。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>もう、パッと変わることはないのではないのでしょうか、小さいものを積み重ねしかないですね。急に収益改善もできないのではないのでしょうか。</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>難しい世の中ですよ。ないものねだりというところもあるかもしれませんが、メッセージとしては入れておくべきことかなと思います。</p>
<p>藤松担当課長</p>	<p>それでは、今のお話をまとめますと、6の「来年度の事業執行に対する指導事項等」に、今いただきましたご意見を反映させる形で修正させていただきたいと思います。安全性の面、それと事業者側の収支ですね。これは私たちの方も赤字で運営していただくのは、やはり事業の安定性に課題があるのではないかと考えますので、その辺の努力を促すことと、環境の配慮ですね。これらの事項を付け加えさせていただく形で、少し修正の方を図ってまいりたいと思います。これは、議事録をご確認いただく際に、このような形に修正しましたというところは、皆様にお知らせできるようにしたいと思っています。</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>それでは、他にないようでしたら、採決に入ります。評価対応には変更なしとさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(全員賛成)</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>全員賛成ですので、議題の「川崎市入江崎余熱利用プール指定管理者における管理運営事業の令和6年度評価」については、原案のとおり決定します。全体を通して御質問や御意見はありますか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(意見・質問なし)</p>
<p>鷺津委員長</p>	<p>それでは以上をもちまして、本日の審議を終了します。事務局に進行開始します。</p>
<p>藤松担当課長</p>	<p>以上をもちまして、本日の委員会を終了いたします。</p>